

保健事業の内容

別紙2

	目指すべき姿	保健事業	H30	連携機関
特定健診・がん検診の推進と疾病予防・重症化予防	住民が自らの健康づくりに活用できる生活習慣病予防対策を実施する (各種検診・検診受診率の向上を含む)	特定健診等	特定健診(集団) 40歳以上の国保加入者を対象に、地区巡回型健診の実施。 うち0.5日南木曾会館にて日曜健診実施。 自己負担:0円 心電図:0円 特定健診(個別) 40歳以上の国保加入者を対象に、篠崎医院・坂下病院・古根医院にて委託実施。 自己負担:0円 心電図:0円 人間ドック 35歳以上の国保加入者を対象に、人間ドック受診費用の7/10(上限3万円)を助成。 データ提供 職場健診を受けている者、医療機関で検査を行なっている者を対象に、特定健診の法定実施項目と同等の場合にデータ提供を依頼。 データ提供者へ粗品の提供。 さわやか健診 20~39歳の者を対象に、地区巡回型健診の実施。 うち0.5日日曜健診実施。 自己負担:0円 心電図:0円 いきいき健診 後期高齢者医療制度加入者を対象に、地区巡回型健診の実施。 うち0.5日日曜健診実施。 自己負担:0円 心電図:0円	医療機関、健診実施機関
		特定健診等 フォローアップ	特定健診・さわやか健診・いきいき健診 健診結果を専門職にて丁寧に個別返却し、健診結果を見える化する。 マルチマーカーを活用し、個々の健診データを視覚的に分かりやすくする。	保健師、管理栄養士、健康ライフサポートLLP
		特定健診 未受診者対策	特定健診 保健師・管理栄養士・看護師の個別訪問による受診勧奨・情報提供依頼。 手紙・電話による受診勧奨・情報提供依頼。	保健師、管理栄養士、看護師
			さわやか健診 20~39歳の対象者に無料クーポンの配布と受診勧奨。	
			特定健診・さわやか健診 健診受診料・心電図検査料の無料化。 特定健診・さわやか健診・いきいき健診 集団健診を地区巡回型健診にて実施。うち0.5日日曜健診実施。	健診実施機関
		がん検診	胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん 自己負担:500円(国民健康保険加入者:0円)に軽減。	検診実施機関
			骨検診 対象者を女性のみから男性も拡充して実施。	検診実施機関
口腔・歯科	歯周疾患検診受診率を向上させ、予防歯科の啓発を行う	歯周疾患検診 対象者を40.45.50.55.60歳とし、個別健診として水野歯科医院にて委託実施。 自己負担:0円 歯科医院への受診状況について実態調査の実施。	医療機関	
		3歳児親子歯科健診 対象者を3歳児健康診査受診児の両親として、水野歯科医院にて委託実施。		
食育・栄養	住民が、からだに良い食べ方や、食を選択する力を身に付けることができる 食に関心を持ち、健康管理の習慣を身につける	町独自 保健事業	生活習慣病予防のための野菜の食べ方を普及 サキベジの推進、ポップ掲載、登録制度の導入。	商工会、町内飲食店
			小学生・中学生の健診 健診結果を専門職にて保護者を含めて個別返却し、個々の結果を見える化する。	小学校、中学校、教育委員会、健康ライフサポートLLP
			保護者への食の講座 からだの仕組みやカロリー・栄養素・塩分の出納についての理解を深める。	保育園、小学校、中学校、教育委員会、健康ライフサポートLLP
健康づくり・生きがい	健康寿命の延伸のために、町の現状を見える下肢、住民と共有することで、住民が主体的に健康づくりに取り組むことができる	地域健康づくり地区懇談会 データヘルス計画について説明。	地域振興協議会、保健補導員会、食生活改善推進協議会、老人クラブ、社会福祉協議会	
		インセンティブ制度導入 健康づくり関連事業に参加した際にポイントをつけ、そのポイントを健康づくりに活かせる。 運動できる環境づくり	商工会、なぎそチャレンジクラブ、社会福祉協議会、なぎそおたすけ隊	